本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

P

CASIO
2050＊JA
取扱説明書

2050　　Baby-G

このたびは、弊社製品をお買い上げくださいまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。
本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に傷害を与えることは一切ありません。本機の特徴、機能を十分に使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでおためしください。

■本機の特徴

- 潜水時間を計測するダイビング機能
- 26都市と9ダイビングスポットの時刻を表示するワールドタイム機能
- 個人データをメモリーするID機能
- アラーム機能
- ストップウオッチ機能
- オートELバックライト機能

安全上のご注意

絵表示について　この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例


△ 記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています。
(左の例は感電注意)


⃠ 記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています。
(左の例は分解禁止)


● 記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています。
(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

⚠ 危険

スキューバダイビング等に使用するときは

必ず安全潜水に関する特別な教育を受けてからご使用ください。

本機は潜水の同伴者(バディ)の代用にはなりません。潜水の際は必ずバディシステムをお守りください。

本機は減圧計算を行なう「ダイビングコンピュータ」ではありません。あくまでも補助用としてご使用ください。

飽和潜水などによるヘリウム雰囲気中で、本機を使用しないでください。

電池が消耗しているとき(電池切れ予告表示となっているとき)は、電池交換を行なってから使用してください。

⚠ 警告

電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かないところへ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。
①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等
●バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
●「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれをふせぐものではありません。
●万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

電池交換について

電池交換の際には、特殊な試験機での検査、およびパッキン交換を行ないます。電池交換は必ずお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

⚠ 注意

オートライト作動時のご使用について

登山やハイキングなどで暗く足元の不安定な場所で歩きながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。転倒やケガの原因となることがあります。

夜間、道路でマラソンやジョギングをしながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。転倒や交通事故の原因となることがあります。

夜間、自転車やバイクなどを運転しながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。転倒や交通事故の原因となることがあります。

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのでおやめください。交通事故の原因となることがあります。

ダイビング中など、姿勢によってはオートライトが作動しにくい場合があります。

目　次

安全上のご注意
操作のしくみと表示の見方 …… 4
表示照明用ELバックライトについて …… 6
ダイビング機能の使い方 …… 8
ワールドタイム機能の使い方 …… 11
ID機能の使い方 …… 15
アラームの使い方 …… 20
ストップウオッチの使い方 …… 22
時刻・カレンダーの合わせ方 …… 23
製品仕様 …… 26
お手入れについて …… 27
電池交換について …… 28
ご使用上の注意 …… 30

操作のしくみと表示の見方

Ⓒボタンを押すとモードが切り替わります。

（グラフ表示は各モードの分に連動して、1秒ごとに点滅し、5分ごとに点灯します）

ダイビングモード

＜リセット表示＞



P-8

ダイビングモードに切り替えるには、いずれかのモードのときにⒸボタンを約1秒間押し続けます。
なお、ダイビングモードのときにⒸボタンを約1秒間押し続けると、時刻モードに戻ります。

時刻モード



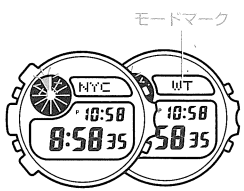
Ⓐを押している間

＜ログデータ表示＞



Ⓒ

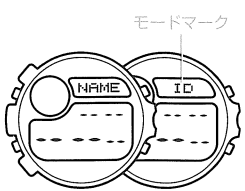
ワールドタイムモード



P-11

Ⓒ

IDモード



P-15

Ⓒ

アラームモード



P-20

Ⓒ

ストップウオッチモード



P-22

Ⓒ

※各モードでボタン操作をした後Ⓒボタンを押すと、直接時刻モードに戻ります。

表示照明用ELバックライトについて

本機の表示部にはELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けると文字板が発光するオートライト機能もあります。

■ボタンを押して発光させる
～手動発光～

Ⓛボタンを押します

Ⓛボタンを押すと約２秒間文字板が発光します。



※オートライトOFFのときもⓁボタンを押すと発光します。

■時計を傾けて発光させる
～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が発光する便利な機能です。
暗い場所で、時刻などを見るときに大変便利です。
オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾けるだけで文字板が約２秒間発光します。

準備

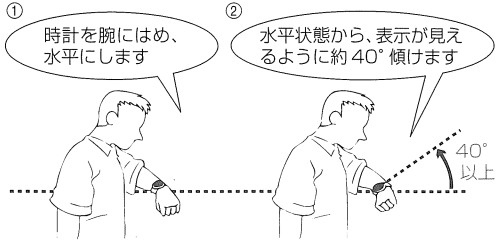
時刻モードのときⓁボタンを１～２秒間押し続けて、オートライトONにします。



オートライトONマーク

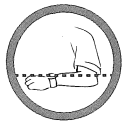
※オートライトONのとき、Ⓛボタンを１～２秒間押し続けるとオートライトOFFに戻ります。
※オートライトON/OFF設定は、時刻モードのときのみ行なえます。

●文字板を発光させる



※オートライト機能を使用するときは、時計を**「手首の外側」**にくるようにつけてください。

※文字板の左右（３時－９時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



〈EL発光についてのご注意〉

- 直射日光下では発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

〈オートライトご使用時の注意〉

- オートライトが作動するのは、ONにしてから約**4時間**です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的にオートライトOFFになります。
  ※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度Ⓛボタンを１～２秒間押してONにしてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。
  （26ページ「製品仕様」参照）
- 時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- 文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は約２秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。**オートライトを使用しないときは必ずOFF**にしておいてください。
  ※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。
- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると発光しやすくなります。
- ダイビング中など姿勢によってはオートライトが作動しにくい場合があります。

ダイビング機能の使い方

ダイビング機能は計測した潜水時間と潜水開始時刻をメモリーします。（ただし、次の計測を終了させると、前回データは上書きされます）
また、潜水時間の計測を終了させると、自動的にインターバルタイム（水面休息時間）の計測を行ないます。

■表示の見方

＜リセット表示＞



＜計測表示＞



●グラフ表示
1秒ごとに点滅し、5分ごとに点灯部分が増えてゆきます。

■計測単位および計測範囲

●潜水時間
計測単位＝1秒
計測範囲＝23時間59分59秒（24時間）

●インターバルタイム
表示単位＝1分
計測単位＝1秒
計測範囲＝23時間59分59秒（24時間）
※24時間以降は表示しません。

〈インターバルタイムについて〉

インターバルタイムは、潜水時間の計測をストップさせてから次の潜水時間の計測をスタートするまでの経過時間です。

※インターバルタイムは、時刻モードでⒶボタンを押している間表示されます。

ダイビングモードに切り替えるには、いずれかのモードでⒸボタンを約1秒間押し続けます。
時刻モードに戻すには、もう一度Ⓒボタンを約1秒間押し続けます。



■計測のしかた



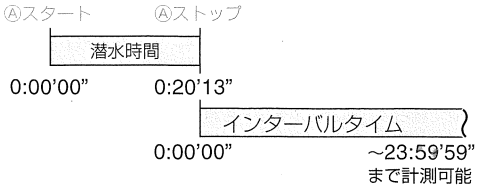
●スタート
Ⓐボタンを押すと、潜水時間計測がスタートします。

●ストップ
潜水時間計測中にⒶボタンを約1秒間押し続けると、ストップします。

●リセット
潜水時間計測がストップ中にⒷボタンを約1秒間押し続けると、リセット表示に戻ります。
※計測ストップ中にⒸボタンを約1秒間押し続けて時刻モードに戻ったときもリセットされます。

計測例）

●潜水を1回で終了する場合



●休息後、もう1回潜水する場合



※連続してダイビングモードで再スタートさせた場合は、2回目の潜水時間は前回の続きからとなります。

■ログデータを見る

時刻モードでⒶボタンを押している間、前回の潜水開始時刻、潜水時間、インターバルタイムを表示します。



※ メモリーできるログデータは1セットで、新たにメモリーさせた場合は、前回のメモリーを消去して最新データのみメモリーします。

■ログデータの消去

時刻モードでⒶボタンを押したまま、Ⓑボタンを押します。



■ご注意

●計測中にⒸボタンを約1秒間押し続けると、時刻モードに戻りますが、計測は続けられています。
※このときのデータはメモリーされません。

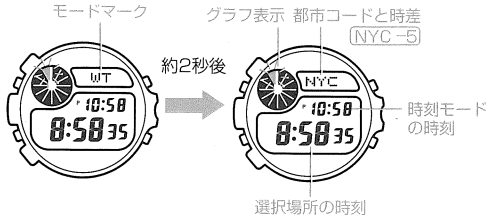
●潜水前は電池マーク(28ページ参照)が点灯していないことを確認してください。電池マークが点灯しているときには(電池が消耗しているときは)、電池交換を行なってから使用してください。電池マークが点灯しているときに他のモードからⒸボタンを約1秒間押し続けても、ダイビングモードに切り替わりません。
※このときドット表示部に"BATT"と表示されます。

ワールドタイム機能の使い方

ワールドタイム機能は、世界26都市とダイビングスポットである世界9箇所の時刻をワンタッチで知ることができます。

■表示の見方

ワールドタイムモードに切り替えると、モードマークを表示後、前回このモードで最後に見た都市またはダイビングスポットの標準時を表示します。



※ 時差は世界標準時との時差です。

■サーチ

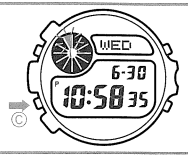


Ⓐボタンを押すごとに、都市コードまたはダイビングスポット名と、選択場所の時刻を表示します。
※ Ⓐボタンを押し続けると、早送りができます。

●スイープ表示

都市コードまたはダイビングスポット名の表示は、右から左に流れるスイープ表示を1回行なって止まります。もう一度スイープさせるときは、Ⓛボタンを押します。

ワールドタイムモードに切り替えるには、時刻モードのときにⓒボタンを1回押します。



●ワールドタイム都市一覧表

都市名／ダイビングスポット		時差
LON	ロンドン	±0
PAR	パリ	+1.0
IST	イスタンブール	+2.0
RED SEA	紅海	+2.0
JED	ジッダ	+3.0
THR	テヘラン	+3.5
DXB	ドバイ	+4.0
MAURITIUS	モーリシャス	+4.0
KBL	カブール	+4.5
KHI	カラチ	+5.0
MALDIVES	モルジブ	+5.0
DEL	デリー	+5.5
DAC	ダッカ	+6.0
RGN	ヤンゴン	+6.5
BKK	バンコク	+7.0
HKG	香港	+8.0
TYO	東京	+9.0
ADL	アデレード	+9.5
SYD	シドニー	+10.0

都市名／ダイビングスポット		時差
GBR	グレートバリアリーフ	+10.0
GUAM	グアム	+10.0
NOU	ヌーメア	+11.0
WLG	ウェリントン	+12.0
PPG	パゴパゴ	−11.0
HAWAII	ハワイ	−10.0
TAHITI	タヒチ	−10.0
ANC	アンカレジ	−9.0
LAX	ロサンゼルス	−8.0
DEN	デンバー	−7.0
CHI	シカゴ	−6.0
GALAPAGOS	ガラパゴス	−6.0
NYC	ニューヨーク	−5.0
CAYMAN	ケイマン諸島	−5.0
CCS	カラカス	−4.0
RIO	リオデジャネイロ	−3.0

※この表は1998年6月現在作成のものです。
※時差はグリニッジ標準時(世界協定時：UTC)を基準としたものです。

■ワールドタイムの合わせ方

表示される26都市または9ダイビングスポットのいずれか1箇所を合わせると、時差計算によりすべての標準時が自動的に合わせられます。

1 セット場所をサーチする

Ⓐボタンを押します

押すごとに都市コードまたはダイビングスポット名が切り替わります。



- 点滅箇所がⒶボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓛボタンを押すごとに1つずつ戻ります。
- ※Ⓐ・Ⓛボタンとも押し続けると早送りができます。
- 時のセットのとき、午前／午後(P)にご注意ください。
- 時刻モードの現在時刻を24時間制表示にしているときは、アラームのセット時刻も24時間制表示になります。

2 セット状態にする

Ⓑボタンを約1秒間押し続けます

→「時」が点滅します。



3 「時」をセットする

ⒶまたはⓁボタンを押します

→ Ⓐ :進む
Ⓛ :戻る



4 入力箇所を切り替える

Ⓒボタンを押します

→「分」が点滅します。



5 「分」をセットする

Ⓐまたは Ⓛボタンを押します

→ Ⓐ :進む
Ⓛ :戻る



6 セットを終わる

Ⓑボタンを押します

→ 点滅が止まります。



★ワールドタイムのセットで、表示を点滅させたまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

■サマータイムの設定／解除

サマータイムは各都市／ダイビングスポットごとに設定できます。

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。
サマータイムの採用時期は各都市により異なりますし、採用していない都市もありますのでご注意ください。

サマータイムを設定するには

Ⓛボタンを押し続けます

→ "ピッ"と鳴り、DSTマークが点灯して1時間進みます。

※サマータイムを解除するには、もう一度Ⓛボタンを"ピッ"と鳴るまで押し続けてDSTマークを消灯させます。

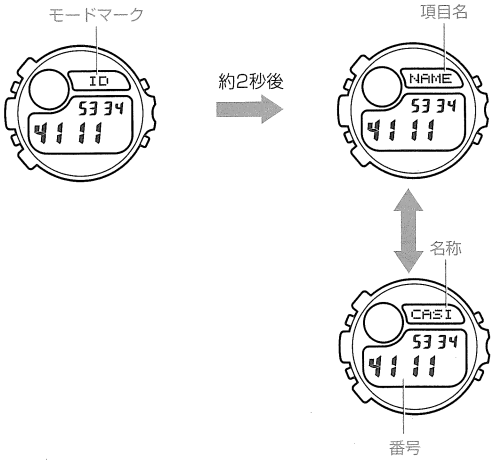


ID機能の使い方

ID機能は、名前、Cカード、緊急連絡先、パスポート、血液型を記憶するプリセットメモリーとフリーメモリー5本の合計10本のメモリーがあります。

■表示の見方

IDモードに切り替えると、まず名前を表示します。



- 項目名を表示後、入力されている名称と番号を表示します。
- 項目名、名称とも5文字以上のときは右から左に流れる「スクロール表示」となります。
- データ表示中は、項目名と名称を交互に表示します。
- 名前、Cカード、緊急連絡先、パスポート、フリーメモリーは名称16文字、数字10桁が記憶できます。
- 血液型はABO式とRH式が記憶できます。

ご注意

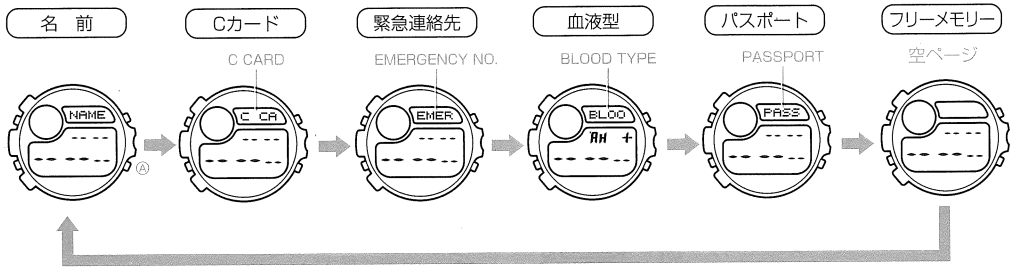
ID機能には、ご自分のデータのみを入力してください。また、ご自分のデータを入れた本機を他人に貸したり、紛失、盗難されたりすると、大切な番号を悪用されるおそれがありますので、本機の取り扱いには十分にご注意ください。
万一、本機にお客様ご自身が登録した番号により発生した損害等については、当社ではいっさい責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

IDモードに切り替えるには、時刻モードのときにⓒボタンを2回押します。



■データのサーチ

IDモードでⒶボタンを押すごとに、以下の順にデータを表示します。



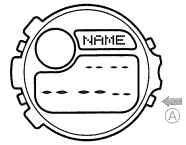
※ フリーメモリーは入力してあるメモリーと空ページ(1本)を表示します。
※ フリーメモリー5本にデータを入力してあるときは、空ページは表示されません。

■データの入力

1 項目を選ぶ

Ⓐボタンを押します

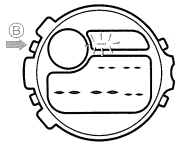
※ フリーメモリーのときは空ページを選びます。



2 セット状態にする

Ⓑボタンを約1秒間押し続けます

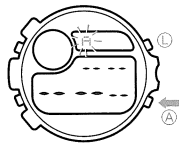
→ 名称の1桁目または血液型のABO式または"−"(ハイフン)が点滅します。



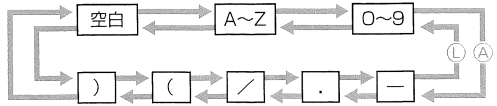
3 名称またはABO式を入力する

ⒶまたはⓁボタンを押します

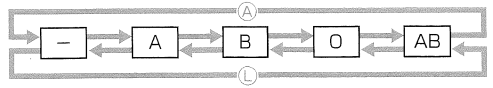
※ 血液型はABO式とRH式の両方を入力してください。



●名称の場合



●血液型(ABO式)の場合

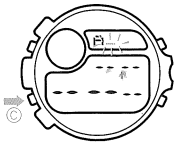


4 入力桁を送る

ⓒボタンを押します

→ 点滅桁が右に移動します。

※ 名称は16文字まで入力できます。

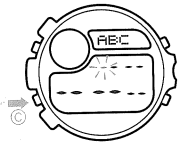


名称はⒶまたはⓁボタンで入力したい文字を表示させ、ⓒボタンで場所(桁)を選んで入力します。
※不要な文字を消すときは、ⒶまたはⓁボタンを押して空白を選びます。

5 入力箇所を切り替える

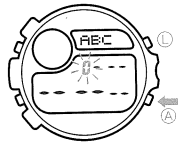
Ⓒボタンを約1秒間押し続けます

→ 番号の1桁目が点滅します。

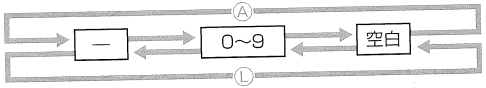


6 番号またはRH式を入力する

ⒶまたはⓁボタンを押します



●番号の場合



●血液型(RH式)の場合



7 入力桁を送る

Ⓒボタンを押します

→ 点滅桁が右に移動します。

※ 番号は10桁まで入力できます。



番号はⒶまたはⓁボタンで入力したい文字を表示させ、Ⓒボタンで場所(桁)を選んで入力します。

※不要な数字を消すときは、ⒶまたはⓁボタンを押して空白を選びます。

8 セットを終わる

Ⓑボタンを押します

→ 点滅が止まります。



★データの入力で、表示を点滅させたまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

■データのクリアー

1 項目を選ぶ

Ⓐボタンを押します



2 セット状態にする

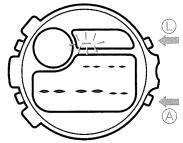
Ⓑボタンを約1秒間押し続けます

→ 名称の1桁目または血液型のABO式が点滅します。



3 クリアーする

Ⓐ・Ⓛボタンをいっしょに押します

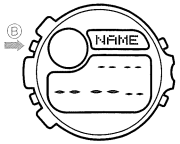


4 クリアーを終わる

Ⓑボタンを押します

→ 点滅が止まります。

※ フリーメモリーのときは空ページとなります。



★データのクリアーで、表示を点滅させたまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

アラームの使い方

アラームは1分単位でセットでき、セット時刻になると20秒間の電子音で知らせてくれます。
また、毎正時(00分のとき)に電子音で時報をならすこともできます。

■アラーム時刻のセット

1 セット状態にする

Ⓑボタンを約1秒間押し続けます

→ 時が点滅し、アラームオンマーク"ALM"が点灯します。



アラームオンマーク

- 点滅箇所がⒶボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓛボタンを押すごとに1つずつ戻ります。
  ※Ⓐ・Ⓛボタンとも押し続けると早送りができます。
- 時のセットのとき、午前/午後(P)にご注意ください。
- 時刻モードの現在時刻を24時間制表示にしているときは、アラームのセット時刻も24時間制表示になります。

2 点滅箇所をセットする

ⒶまたはⓁボタンを押します

→ Ⓐ:進む
Ⓛ:戻る



3 入力箇所を切り替える

Ⓒボタンを押します

→ 分が点滅します。



アラームモードに切り替えるには、時刻モードのときにⒸボタンを3回押します。



4 点滅箇所をセットする

ⒶまたはⓁボタンを押します

→ Ⓐ:進む
Ⓛ:戻る



5 セットを終わる

Ⓑボタンを押します

→ 点滅が止まります。



★アラーム時刻のセットで、表示を点滅させたまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

●鳴っているアラームを止めるには
いずれかのボタンを押します。

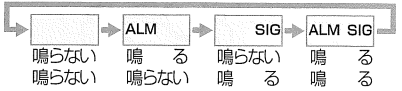
■アラーム・時報のオン/オフ

Ⓐボタンを押します

→ 押すごとに、以下のようにアラーム・時報のオン/オフが切り替わります。



アラームオンマーク　時報オンマーク



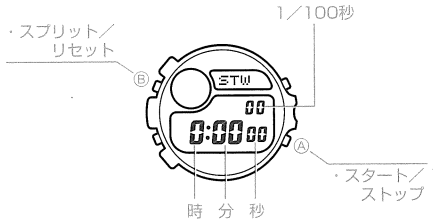
●デモアラーム
アラームモードでⒶボタンを押し続けると、押している間、アラーム音が鳴ります。

ストップウオッチの使い方

ストップウオッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測でき、以後、自動的に0に戻って計測を続けます。

■計測のしかた

- Ⓐボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。
- 計測がストップしているときにⒷボタンを押すと0時間00分00秒00(リセット表示)になります。
- 計測中にⒷボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリットタイム(途中経過時間)計測となります。



ストップウオッチモードに切り替えるには、時刻モードのときにⓒボタンを4回押します。



●通常の計測

Ⓐ スタート → Ⓐ ストップ → Ⓑ リセット

積算計測…

ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずにⒷボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測をはじめます。

●スプリットタイム計測

Ⓐ スタート → Ⓑ スプリット計測 → Ⓑ スプリット解除 → Ⓐ ストップ → Ⓑ リセット

●1着・2着同時計測

Ⓐ スタート → Ⓑ 1着ゴール(1着タイム表示) → Ⓐ 2着ゴール → Ⓑ 2着タイム表示 → Ⓑ リセット

時刻・カレンダーの合わせ方

時刻・カレンダー合わせは、時刻モードで行ないます。

■秒の合わせ方 ~30秒以内の遅れ/進みの修正~

1 セット状態にする

Ⓑボタンを約1秒間押し続けます

→ 秒が点滅します。



2 秒を合わせる

時報に合わせて

Ⓐボタンを押します



秒が00~29秒のときは切り捨てられ、30~59秒のときは1分繰り上がって「00秒」になります。
※時報は「時報サービス　電話117番」が便利です。

3 セットを終わる

Ⓑボタンを押します

→ 点滅が止まります。



★秒合わせのときに、表示を点滅させたまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

■時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻・カレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

1 セット状態にする

Ⓑボタンを約1秒間押し続けます

→ 秒が点滅します。

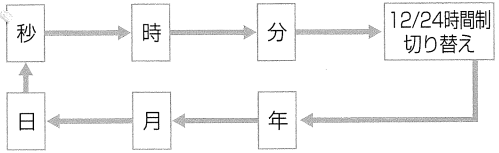


2 入力箇所を切り替える

Ⓒボタンを押します

→ 押すごとに点滅箇所(セット箇所)が以下の順に移動します。





3 セットする

ⒶまたはⓁボタンを押します



- 「時」「分」「年」「月」「日」のときは、Ⓐボタンを押すと1つずつ進み、Ⓛボタンを押すと1つずつ戻ります。

※Ⓐ・Ⓛボタンとも押し続けると早送りができます。

- 「12/24時間制切り替え」のときは、Ⓐボタンを押して切り替えます。
- 時のセットのとき、午前/午後(P)および24時間制表示にご注意ください。
- 曜日は年月日を合わせると自動的にセットされます。

Ⓒボタンを押してセットしたい箇所を点滅させ、Ⓐ・Ⓛボタンを押してセットする操作を繰り返し、セットしてください。

4 セットを終わる

Ⓑボタンを押します

→ 点滅が止まります。



・「年」は西暦で1995～2039年までセットできます。
・カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

★時刻・カレンダーのセットで、表示を点滅させたまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

製品仕様

水晶発振周波数　：32,768Hz
精　　度　：平均月差±15秒以内
基本機能　：月・日・曜日・時・分・秒・午後(P)
フルオートカレンダー(1995~2039年)
ダイビング機能　：潜水時間
計測単位=1秒
計測範囲=23時間59分59秒(24時間)
インターバルタイム
計測単位=1秒
計測範囲=23時間59分59秒(24時間)
ログメモリー1本(潜水開始時刻、潜水時間、インターバルタイム)
ワールドタイム機能　：26都市+9ダイビングスポット
時・分・秒(秒は基本時刻と連動)
サマータイム切り替え機能付
ＩＤ機能　：メモリー数=10本
名前、Cカード、緊急連絡先、パスポート、フリーメモリーは名称16文字、数字10桁をメモリー
血液型はABO式とRH式をメモリー
アラーム機能　：セット単位=分　電子音=20秒間
時報　毎正時に2回電子音で報時
ストップウオッチ機能　：計測単位= 1/100秒
計測範囲= 23時間59分59秒99
(24時間計)
通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測
セット機能　：時刻・カレンダーセット機能、秒合わせ機能(±30秒アジャスト)、アラームセット機能、ワールドタイム時刻セット機能、IDメモリーセット機能
その他　：自動復帰機能、モニターアラーム、12/24時間制表示切り替え、ELバックライト、ELオートライト
主要回路素子　：音叉型高性能水晶振動子、ワンチップCMOS-LSI
使用電池　：CR-1620(電池別途販売)
電池寿命　：約18カ月

(1日あたり
ライト2秒、
電子音20秒使用した場合)

※ただし、使用条件により電池寿命が短くなります。
上記に加えて
ライト8秒/日使用した場合
約15ヵ月

お手入れについて

お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
●金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れを怠ると

●「サビ」
・ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
・表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
●「劣化」
・樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。
●「かぶれ」
・皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
・万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消耗

●電池の消耗時期が近づきますと、電池切れ予告として電池マーク(▰▰)が点滅します。
このときは、速やかに電池交換を行なってください。



電池マーク

●ダイビング中に電池マークが点滅したときは、なるべく早目に電池交換を行なってください。

●電池マークが点滅しますとELバックライトが発光しなくなり、電子音が鳴らなくなり、ダイビングモードへ切り替えられなくなります。

●電池マークが点滅しているときにELバックライトを点灯したり、ダイビングモードに切り替えようとすると、"BATT"と表示されてできません。



●下記の場合には電池切れ予告として電池マークが点滅します。
① 通常のご使用において、電池が消耗し、電池電圧が下がったとき。
⇒ 電池を交換してください。
② ELバックライトの連続点灯を行なったとき。
※電池電圧の復帰に時間がかかり、しばらくの間点滅することがあります。
⇒ しばらく放置してください。電池切れ予告マークが消えたらご使用いただけます。
※使用条件により消えるまでの時間は異なります。

●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申しつけください。

■お客様へ

電池交換の際には、お店の方に必ずこのページをお見せください。

■ご販売店さまへ

本機の電池交換を行なう場合、以下の点にご注意ください。

●使用する電池は

電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●電池交換後のご注意

電池交換後は、必ずISO規格に準拠した防水試験を行なってください。
防水試験ができない場合は、カシオテクノ・サービスステーションに電池交換をお申し付けください。

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

ご使用上の注意

■防水性

- 水深200m（20気圧）相当の圧力に耐えます。スキンダイビング、スキューバダイビング等にご使用になれます。
- 水中でのボタン操作を行なっても、本機の性能に支障はありません。
- 防水性を保つために、必ず定期的(2年に1回)なパッキン交換を行なってください。
- 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げのお店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください(特殊な治具を必要とします)。

■潜水前のご注意

- バッテリーレベルメーターを確認して、電池が十分充電してあることを確認してください。
  ※なるべくレベル2以上でご使用ください。
- ダイビング中は、極端にライトを使用しないでください。極端にライトを使用した場合は動作保護のためにライトが点灯せず、音が鳴らなくなります。
- 時刻が正確にセットされているかを確認してください。
- ガラスやケース、バンドなどにヒビや破損などの異常がないか、また、バンドが確実に固定されているかを確認してください。

■潜水中のご注意

- 岩などにぶつけないようにご注意ください。

■潜水後のお手入れ

- 海水や汚水を真水でよく洗い落とし、よくふいて乾かしてください。サビなどが出ないようにご注意ください。
  ※一晩、真水に浸して塩抜きすることをお勧めします。

■バンド

- バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

■温度

- 自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショック

- 腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い衝撃を受けても時計には影響ありません。
- 腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。

■磁気

- 本機の性能には磁気による影響はありませんが、長期の使用により本機自体が磁気を帯びるおそれがあります。もし、本機自体が磁気を帯びた場合は、水中コンパスの精度に影響をおよぼしますので、水中コンパスを本機から離してご使用ください。
- 本機自体が磁気を帯びたり、強い磁気を発するものの近くで本機を使用すると、オートライトが作動しにくくなることがあります。

■薬品類

- 水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として使用しているELパネル(エレクトロルミネッセンスパネル)は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見えることがあります。このようなときにはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■抗菌防臭バンドについて

抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。